

春の交通安全運動

4月6日から15日まで、全国で春の全国交通安全運動が展開され、本町でも街頭指導や様々なキャンペーン活動などが行われました。

4月6日 交通事故防止「人波作戦」

交通安全母の会、PTA役員、交通安全協会員などが参加、交通安全と事故防止を呼びかける。

4月8日 交通安全クリーン作戦

町内業者によるカーブミラーなど交通安全施設の点検及び清掃作業。参加業者は、坂口建設、大富建設、鳥居自動車整備工場、松本医院、南興建設、豊崎建設、肥薩瓦、JA、新立産業、村上建設、山口商店、諫山産業、平国野崎建設、野崎土木、太陽生コンクリート、むつみ交通（順不同）。



4月9日 「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーン

歌坂ドライブイン前で、津南保育園児などがドライバーに対しサウ玉ちゃんやチラシを配布し、交通安全を呼びかける。

4月14日 高齢者の交通安全自転車教室

水俣自動車学校で、老人クラブ連合会などが参加し開催。



津奈木町での様々な取り組みについて！



鯉のぼりの設置

また、同日役場職員2名が津奈木町のシンボル、重盤岩の旗に鯉のぼりを設置。高さ80mの絶壁で足場の悪い中、見ているほうもドキドキするような状況下で、無事鯉のぼりを掲げました。大空を自由に泳ぐ、この鯉のぼりたちは、5月の大型連休くらいまで設置される予定です。

4月4日、町商工会青年部（寺床浩治部長）約10名が参加し、四季彩前に鯉のぼりを立てました。これは、明るく豊かな町づくりを目指して、毎年実施しているものです。今年も、柱として使用する木材の切り出しから作業開始。当日は、皮を剥き綺麗にやすりをかけられた柱を、みんなで力を合わせて四季彩前の柵に立てました。かなり体力を必要とする大掛かりな作業となりましたが、参加者全員の協力により、けが人もなく無事に10本もの立派な鯉のぼりが立てられました。

放課後児童クラブは、共働き等で昼間保護者が家にいない子どもに適正な遊びと生活の場を与え、育成及び指導を行うことを目的として、昨年の10月1日から始まりました。毎日、初めに検温などをして体調管理に気を配りながら、宿題やドリルなどの勉強をしたり、折り紙やゲームなどをしてたりと毎日楽しく過ごしています。指導員の長濱美香さんは「年齢の上、下関係なく仲良く遊んだり、勉強したりしています。普段は甘えんぼな子ども、下の子が入ってくると、しっかり面倒を見てくれて、とても助かっています。日頃のストレスなどを発散して、心を満たしたまま帰ってあげたい。本音がいえるような場所にしてあげたい。」と児童クラブの様子や、子ども達への思いを話してくださいました。指導員の方は、全部で4名。お仕事を頑張るお父さん・お母さんに代わって、優しく子どもさんを見守ってくれています。



放課後児童クラブ